

令和 7 (2025)年度 事業報告について

令和 7(2025)年度は、「今年度は、私立学校法改正に伴い、大学が組織、体制を新たに変革する年であった。学員会においても、組織、体制の更なる充実を図り、学員一同互いに協力し、母校の発展に寄与すべく事業の展開を図る。」という基本指針のもと、以下の事業を行った。

【令和 7 (2025)年度重点事業の実績】

1. 支部に関する事業：ネットワーク強化：地域ブロック交流

本部内に「地域ブロックワーキング・グループ」を立ち上げ、①各ブロック担当副会長が提出する「出張報告書」を活用した各支部の取組事例、成功事例や本部推進施策の情報共有、②学員体育会と連携した地方開催のスポーツ大会を通じた応援文化の機運醸成、③基本的に年3地域でのブロック会議の開催（今年度は2地域）を実施することとした。具体的には、11月2日の「全日本学生駅伝」、翌3日の「ハンドボール全日本インカレ」を通じて開催地近隣支部間の交流（横連携）や学員体育会支部や父母連との交流（斜め連携）を試みた。また令和 8(2026)年1月18日に「山梨・長野支部合同会議」、同年2月28日には「九州・沖縄ブロック支部長幹事長会議」としてブロック会議を開催した。

2. 学員に関する事業：若手・女性学員：若手白門サロン、女性学員交流行事

原則、会長・副会長会議開催日の19時から駿河台キャンパス19階「Good View Dining」にて平成・令和卒の学員を対象とする「白門若手サロン」を開催。支部の枠にとらわれず、地域・職域支部に所属する学員、女性・令和卒の学員も毎回参加している。結果、卒業5年目の令和2年卒の年次支部設立（令和 8(2026)年3月11日承認）に当該サロンが大きく寄与することにもなった。また5月17日には『女性のための座談会・懇親会』を開催し、オリンピックの田中雅美氏を招いてサロントーク「オリンピックで学んだ折れない心の作り方」を実施した。

3. 広報に関する事業：Web サイト運営：Web サイト『白門オンライン』の充実

学員会のWeb サイト『白門オンライン』の充実に関しては、①支部の企画・イベント情報を気軽に書き込めるコンテンツを登載、②支部のページに各種申請書のダウンロード機能を設定、③スペースの関係で紙媒体の『学員時報』には載せきれない情報を紙媒体の発行時期に制限されずにタイムリーに掲載するなど、Web サイトの利便性向上や若い世代のユーザーの獲得に向けて取り組んだ。

4. 学生に関する事業：学生支援：学生アスリート支援

アスリート学生への支援は昨年度と同様、大学のスポーツ振興・強化推進室や学友会事務室と連携し、学員体育会支部に評価を委託して、学友会体育連盟所属の7部に対して支援金を7月末までに交付し、令和 8(2026)年2月末までに全7部から活動報告書を受領し、これにより支援金が有効に使われ、大きな成果が得られたことを確認した。

また、学員会会長賞（スポーツ分野）は、学員体育会支部に団体賞と個人賞の推薦を依頼し、令和 8(2026)年3月18日に表彰式・総合祝勝会（学員体育会主催）を開催し、団体賞4部、個人賞12名を表彰し、その栄誉を讃えた。

5. 大学に関する事業：大学支援：大学への施設等支援

大学の資料館担当者にヒアリングを実施し、喫緊の課題解消には「企画展」充実などのソフトへの支援より「設備」充実などのハードへの支援が優先して求められている実情を把握したことから、2つの資料館「大学史資料館」と「法と正義の資料館」のそれぞれに、展示ケースを寄贈した。

【令和 7(2025)年度学員会事業報告：基本事業の実績】

事業		個別計画	実績
学員に関する事業	(1)学員表彰	永年在任学員表彰	● 4月17日の選考委員会を経て、5月24日に表彰を行った。9人
		推薦学員	● 4月17日の選考委員会を経て、5月19日の中央大学理事会で承認した。10人
		学員栄誉賞	● 10月26日開催の中央大学ホームカミングデーの際に授賞式を行った。 松田聖子氏（歌手）
		学員薫風賞	● 10月26日開催の中央大学ホームカミングデーの際に授賞式を行った。 石川祐希選手（バレーボール選手）
		学員会会長賞・会長奨励賞	● スポーツ分野の学員について、学員体育会会長の推薦に基づき、2月3日の会長・副会長会議で承認した。 ＜会長賞＞ 個人（5万円）10件 ＜会長奨励賞＞ 個人（3万円）2件
	(2)学員サービス	学員カード交付	● 既卒入会者、代理徴収者への新規発行及び再発行分として7117件交付した。
		白門サロン	● 東京：駿河台キャンパス 19階「白門サロン」 ● 大阪：近畿白門サロン（ガーデンシティクラブ大阪）
		会議室貸出	● 駿河台キャンパス 18階に貸出用会議室2室（フリーWi-Fi 設置）。
		学員クリエーター支援	● 田崎史郎氏の iTLFest. 講演を支援
		東都野球応援	● 東都大学野球（硬式）の観戦チケットを配付した。チケット補助 839 件。
		スポーツ応援グッズ	● 大学スポーツ応援グッズを製作、応援会場を盛り上げるべく学員に配布した。 応援バルーン、ハンドクラッカー、応援手袋、マフラータオル
		白門ゴルフ	● 9月25日、桜ヶ丘カントリークラブで開催。参加組数は16組で60名が参加。
		白門駅伝	● 11月2日、多摩キャンパス陸上競技場で開催。競技参加者：467人。
		白門レガッタ	● 11月8日、戸田オリンピックボートコースで6年ぶりに開催。27チーム選手105名が競技参加。
	(3)若手・女性学員	学員交流行事(若手・女性)	● 若手白門サロン：年間8回開催。参加延べ人数79人 ● 「女性学員のための座談会・懇親会」：5月17日開催。参加者36人
		CBS 講座受講料補助	● 若手学員(平成以降卒業)対象に、9月開講の中央大学ビジネススクール単科コースの受講料半額補助を企画したが、学員の受講者が0人だったため未執行。

事業		個別計画	実績
支部に関する事業	(1) 支部活動支援	支部活動支援	● 支部活動支援費支給 基準額 5 万円：57 支部、3 年継続 10 万円：83 支部 合計 140 支部 ● 会費納入協力金：43 支部 71 件 (@6 千円)
		学術講演会開催補助	● 10 万円を上限に補助：42 支部
		支部「進路(就職)相談会」開催補助	● 10 万円を上限に補助：7 支部
		支部「講演会」講師料補助	● 2 万円を上限に補助：23 支部
		支部 Web サイト開設支援	● 新規開設時のみ 5 万円補助：実績なし
		支部「記念誌」発行補助	● 10 万円を上限に補助：8 支部
	(2) ネットワーク強化	地域ブロック交流	● 1 月 18 日、山梨・長野支部合同会議を開催。参加者 31 人。 ● 2 月 28 日、九州・沖縄ブロック会議を開催。参加者 34 人。
		ブロック旗贈呈	● 実績なし
		大学知名度向上貢献地域交流補助	● 10 万円を上限：4 件 ● 50 万円を上限：1 件
	(3) 新支部結成	支部新規結成支援	● 支部結成時に 15 万円補助：2 件
		支部旗贈呈	● 支部結成時、支部名変更 1 回に限り支部旗を贈呈：1 件
大学に関する事業	(1) 大学支援	大学の中長期事業計画への協力・支援	● 中央大学との関係を密にし、「Chuo Vision 2025」に基づく中央大学の事業を支援することを学員会の基本方針としている。
		大学への施設等支援	● 2 つの資料館「大学史資料館」と「法と正義の資料館」それぞれに、展示ケース寄贈。
		白門飛躍募金活動への協力・支援	● 大学の募金推進本部及び募金連絡調整会議に委員を選出している。 ● 10 月発行の『学員時報』第 532 号に「白門飛躍募金」振込用紙を封入した。
		ホームカミングデー協賛	● 第 34 回ホームカミングデーに運営委員(副委員長を含む)と実行委員(委員長・副委員長を含む)を選出した。
		大学の社会貢献活動への協力・支援	● 大学と学術講演会を共催する支部に対する補助事業を行った。
	(2) 父母連絡会との連携	父母連絡会支部との交流	● 地域支部主体の交流として、就職懇談会や駅伝の合同応援を行っている。
学生に関する事業	(1) 学生表彰	学員会会長賞・会長奨励賞	● 学長及び学員体育会会長の推薦に基づき、2 月 3 日の会長・副会長会議で承認した。 <学術・文化・社会等：会長賞> (5 万円) 個人 2 件、団体 5 件 <学術・文化・社会等：会長奨励賞> (2 万円) 個人 17 件、団体 9 件 <スポーツ：会長賞> 団体(10 万円)4 件、個人(5 万円)12 件

事業		個別計画	実績
学生に関する事業 (続き)	(2)学生支援	卒業生への記念品贈呈	● 卒業生に「COACH オリジナルマグカップ」を贈呈
		在学生への『学員時報』送付	● 2年次以上の学生の父母宛に、年4回『学員時報』を送付した。
		『中大スポーツ』支援	● 『中大スポーツ』188号～193号、7200部購入。
		在学生への就職活動対策支援	● 学員会主催でクレセント・アカデミーに就職対策講座を開講した。 ES 実践セミナー：158人 適性検査 SPI 実践セミナー：118人
		学生ボランティア支援	● 今年度実績なし。
		学生応援支援	● 11月2日開催「全日本大学駅伝」で応援団30名、11月3日開催「全日本学生ハンドボール選手権大会」へ応援団3名を派遣した。
		白門祭への協力	● 支援を希望する各キャンパスの白門祭・大学祭の実行委員会に資金を援助するとともに iTLFest. (市ヶ谷田町)での講演会企画の開催をサポートした。
		学生アスリート支援	● 大学のスポーツ振興・強化推進室や学友会事務室と連携し、学員体育会支部に評価を委託して、学友会体育連盟所属の7部に対して支援した。
事業 奨学金	(1) 白門奨学会	公益財団法人白門奨学会への寄附	● 学員カードの提携手数料671,209円を白門奨学会へ寄付した。
本部に関する事業	(1)学員会運営	支部長会議・協議員会・総会、等の会議運営	● 5月24日、駿河台キャンパス開催。
		会長・副会長会議開催	● 8月を除く毎月、年間11回開催。
		幹事会開催	● ①4月17日、②1月8日、③3月11日に開催した。
		学員名簿管理	● 大学の卒業生システムを利用したの管理を継続している。
		会則等の見直し	● 実績なし
	(2)財政基盤の確立	学員会財政基盤の確立	● 会費収入：124,000,000円 代理徴収：116,340,000円 既卒者会費：7,660,000円 ● 白門支援金収入：32,987,600円
	(3)学員会の活性化	学員会費納入の依頼・促進	● 『学員時報』7月号を住所が判明している学員に送付し未納者には会費納入を依頼。
		支部総会等への役員派遣	● 延べ137件
		支部活動報告書作成	● 172支部掲載の「支部活動報告書」を作成し、支部に配付。

事業		個別計画	実績
業 本部 （続き） に関する事	(4)白門支援金事業	募金、支援事業選定	● 例年通り『学員時報』の7月号、1月号に振込用紙を封入し支援金の依頼を行った。 ● 支援金の使途は白門支援金事業WGで検討し、学員支援、学生支援、大学スポーツ等の強化支援の事業費とした。
	(1)機関紙発行	『学員時報』発行	● 『学員時報』を年4回（4・7・10・1月号、第530～533号）発行した。 4月号：157,700部、7月号：222,300部 10月号：161,400部、1月号：160,600部 合計 702,000部
広報に関する事業		『学員時報』のデジタル媒体とのハイブリッド運用の検討	● 『学員時報』編集会議で、紙媒体と『白門オンライン』（デジタル媒体）のすみ分けを意識して掲載事項を選択するとともに、紙媒体では『白門オンライン』利用の周知に努めている。
	(2)Webサイト運営	Webサイト『白門オンライン』の充実	● 『白門オンライン』のコンテンツについて、イベント情報や支部関係の情報などその充実を図った。
		大学公式サイト内の学員会ページの改訂・保守	● 学員会のページに変更が生じたときはその都度、対応している。
	(3)学員会広報	学員会リーフレット制作	● 例年通り制作した。
		大学広報との連携	● 『学員時報』編集会議委員として大学事務局長と広報室長を迎え、大学広報と連携し、情報共有に努めている。